

かほく市地域包括支援センター運営協議会 平成 29 年度第 1 回会議報告

招集年月日	平成 29 年 10 月 27 日 (金)
招集場所	かほく市役所 304 会議室
開会日時	平成 29 年 10 月 27 日 (金) 午後 1 時 30 分
閉会日時	同 午後 2 時 30 分
委員の定数	9 名
出席委員	北 勝利、大野洋治郎、寺西衣姫、木村喜一郎、金谷征毅、 東敦子、遠田由美子、西盛さよ子、高田政美
欠席委員	塚田久恵
事務局	長寿介護課長：寺嶋立弥、長寿介護課長補佐：竹田昌代 高齢者支援係：七野、高野、網江、松本 介護予防係：花、林、橋岡
議 事 の 経 過	
会長進行	
事務局より	議件 1)平成 29 年度上半期高齢者支援センター業務について
順次説明	(1) 新しい介護予防・日常生活支援総合事業 (2) 包括的支援事業 (質疑応答)
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防実態調査の低栄養に関するアンケート項目が少ないように思う。他にアンケートの機会があれば、是非つけ加えていただきたい。 ・百歳体操、サロンなどいろいろな事業に取り組んでおられるが、地域の活動力に差が見られるように思う。高松地区、宇ノ気地区は活発に見えるが、一方で七塚地区は活動が少ないように見えるがいかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・七塚地区でも、7つの地区のうち浜北、白尾、木津、外日角地区で百歳体操に取り組んでいる。さらに 11 月から、七塚地区の河北台健民体育館で百歳体操が始まる。福祉バスの時刻に合わせて開催し、足がなくて百歳体操に通えない住民にも配慮している。 ・七塚地区は 1 地区あたりの人口が多い。そのため、宇ノ気・高松地区では、1 グループ 10 人～20 人の参加者であるが、例えば白尾地区のグループは 50～60 人と、たくさんの方が参加される。1 地区が広いので、体操が行われている会館の近くの住民は参加しやすいが、遠いと参加しにくいという課題がある。今後、会館とは別の場所で、グループを分割して行うなど検討が必要と考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・お助け便利帳は、どこに配布しているのか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・作成当時、区長、老人クラブ役員、民生委員、ケアマネジャー、窓口の相談者、1 人暮らし高齢者に配布した。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・区長や民生委員など現場で活動する者には、非常に参考になる冊子だと思うが、自分が区長に代わってから、便利帳はいただいていないので、役員が変更になり、新しく代わった方にも渡してほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度予算化し、便利帳をお渡しできればと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの開設支援は具体的にはどんなことを行っているのか？

事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ開設支援として2万円の助成を行っている。 ・認知症カフェは今後どのように展開していく予定か？認知症カフェに限らず、たくさんの事業や支援を行っているが、その後の支援の結果どうなったか、どういう効果があったのか、きちんと評価しているのか？国から降りてきた事業を、ただやっているだけになっていないか？今回説明のあった事業のうち、市独自事業はどれくらいあるか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・国から事業を細かく決められている訳ではない。認知症カフェの支援、認知症シンポジウム等今回説明した全てが独自事業といえる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ「浜広場」は、今年度もう1回実施すると聞いている。来年度以降の継続実施もお願いしていく予定である。事業に関しては、参加者にアンケート等を取り、事業の評価をしていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員として見回りを行っているが、施設入所により見守り対象となる高齢者は少なくなっていると感じている。木津では、すべての高齢者とは言わないが、えびすの会に参加して楽しんでいる高齢者の声はよく耳にする。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が自分の足で行きたいところに行けない、という声はよく耳にする。高齢者へのタクシー券の配布事業はとてもよい事業だと思うが、ケアマネからそのような制度があることを知る高齢者も多い。まだまだタクシー券の配布事業を知らない方が多いのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在300件の申請があり、タクシー券配布の申請の数は想定を上回っている状況。ケアマネなど関係者に、事業のさらなる周知を行っていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1人暮らしの高齢者は、他者と交流したい、誰かとふれあいたいといったニーズが高い。特に、幼稚園児や保育園児とふれあうと認知症が進行した方でも非常に喜ぶ。高齢者と子供が交流する機会をもっとつくってほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援サービスについては、社協も協力していくべきと理解している。社協としては、高齢者だけでなく若い人も含めて地域住民全体が地域福祉に関心を持ってもらうことも重要であると考えている。防災の分野でも、福祉の理解を進め、地域の福祉力を高めていきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・かほく市の高齢者の現状について、単身世帯の数は施設入所者も含まれているのか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所者は含まれていない。 ・基本台帳に載っていても、入院しているなど実際にその場所に存在しないというケースは考えられる。
事務局説明	<p>議件 2)介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業委託事業所の承認について 新規事業所 3 件分を説明 拍手にて全員承認</p>
委員助言	<ul style="list-style-type: none"> ・かほく市は少ないスタッフで、きめ細かくたくさんの事業を行っていると思う。事業評価は、要介護認定率がひとつの指標になると思う。また、便利帳の中の「元気なうちから介護予防」のページの中に、要介護認定率や単身世帯数、介護保険料、などのデータを、将来推計を含めて入れ込んでほしい。それらの数字を住民が目にすることで、はじめて住民は危機感を持って、自助、互助の活動をしっかりやっっていかなければと気付

事務局	<p>くきっかけとなる。それが地域のビジョンにつながる。高齢者や介護に関するデータを積極的に住民に開示して欲しい。</p> <p>その他)</p> <p>12月2日開催予定の「認知症にやさしいまちづくりシンポジウム」について参加依頼 次回の開催を平成30年3月頃を予定していることを報告し、閉会</p>
-----	---